

2016年2月19日

【ニュートラシューティカルズ関連事業】事業協賛に関するお知らせ

日本アンチ・ドーピング機構の「公認スポーツファーマシスト認定制度」事業に協賛

- アンチ・ドーピングのルールに係わる情報・知識を持つ薬剤師を認定する日本アンチ・ドーピング機構の「公認スポーツファーマシスト認定制度」事業に企業として初の協賛
- スポーツ医・科学分野で得た知見や啓発活動などの経験を活かし、公認スポーツファーマシストの認定および教育の充実に協力し、ひいては、アスリートが安心して競技に取り組める環境作りに貢献

大塚製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:樋口達夫)は、この度、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(以下 JADA)*¹が主催する「公認スポーツファーマシスト認定制度」事業に協賛することとなりました。

公認スポーツファーマシスト認定制度は、JADAと日本薬剤師会がパートナーシップ関係を構築し、世界初となる制度として2009年に立ち上がりました。公認スポーツファーマシストは、JADAが認定する、アンチ・ドーピングのルールに係わる最新で正確な情報・知識を有する薬剤師です。主な活動は、スポーツにおけるアンチ・ドーピング活動を推進するため、競技者を含めたスポーツ愛好家などに対し、薬の正しい使い方のアドバイスや、薬に関する健康教育などの普及・啓発を行うことです。



大塚製薬は、JADAの活動を2003年のスポンサープログラムスタート時よりサポートしてきました。昨今の国際的なスポーツムーブメント、アンチ・ドーピングムーブメントを背景にしたJADAの公認スポーツファーマシスト認定制度充実の考えに賛同し、この度、本事業に協賛することを決めました。

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 鈴木秀典会長は「公認スポーツファーマシスト認定制度の準備段階から私たちの活動をサポートしていただいている大塚製薬が、事業強化の考えに賛同し協賛してくれることは、今後の本資格の認定・教育の充実に、ひいては、クリーンなアスリートが安心して競技に取り組める環境整備のための大きな推進力になると期待しています」と述べています。

大塚製薬は「世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する」を企業理念とし、医療用医薬品事業と健康の維持増進に役立つ飲料・食品を取り扱うニュートラシューティカルズ^{※2}事業の両輪で事業展開しています。ニュートラシューティカルズ事業においては、人々の健康維持・増進に貢献する、また、アスリートがパフォーマンスを最大限に発揮するための科学的根拠に基づいた製品の研究開発、製造販売、情

報提供、啓発活動を行っています。また国内外で活躍する競技者および幅広い年齢層のスポーツ愛好家をサポートし続けるとともに、指導者など関係者に対しても有用な情報を提供しています。本事業をサポートすることは、このような活動を行っている「大塚だからできること」「大塚にしかできないこと」であると考えています。大塚製薬は、今後も世界の人々の健康維持・増進に貢献する活動を続けてまいります。

- *1 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(Japan Anti-Doping Agency:JADA) :スポーツのインテグリティ(完全性/高潔性)、公正・公平、平等性を担保するための責任を有するアンチ・ドーピングの統括団体
- *2 ニュートラシューティカルズ(Nutraceuticals) :「Nutrition(栄養)」と「Pharmaceutical(医薬)」を合わせた造語。

スポーツファーマシスト認定制度(概要) <http://www.playtruejapan.org/sportsp pharmacist/>

公認スポーツファーマシスト	(公財)日本アンチ・ドーピング機構が認定する、アンチ・ドーピングのルールに係わる正確な情報・知識を取得した薬剤師。
主催	公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構(JADA)
事業概要	最新のドーピング防止規則に関する正確な情報・知識を持ち、競技者を含めたスポーツ愛好家などに対し、薬の正しい使い方の指導、薬に関する健康教育などの普及・啓発を行える薬剤師の育成を図るための認定プログラムを実施する。
活動例	トップレベル競技者および指導者への情報提供、啓発活動。学校教育の現場における薬物に関する情報提供、啓発活動。ドーピング防止教育啓発活動における講演会での講師。ほか
資格対象者	基礎講習会の受講時点で薬剤師の資格を有する者
認定方法	公認スポーツファーマシスト認定は、基礎講習会と実務講習会の2種類の講習会を受講後、知識到達度確認試験を行い、合格した受講者に対し、JADA が認定証を発行する。